

2023年度 入試説明会資料



生徒と共に…未来に挑戦！

江戸川学園取手中学校

目 次

○2023年度中等部入試（時間割・出願・手続）	P. 1・2
○中等部入試問題の出題傾向と特色	P. 3～9
○入学試験Q&A	P. 10～17
○2022年度中等部入試結果	P. 18～22
○入試説明会・入試日程	P. 23



2023年度(令和5年度) 中等部入試(決定版)

江戸川学園取手中学校

[1]5科目型入試

入試日: 1月17日(火)・1月25日(水)・2月5日(日)

教科	時間	配点	試験時間割
国語	50分	100点	9:00～9:50
算数	50分	100点	10:05～10:55
英語(リスニング20分)	20分	50点	11:10～11:30
理科・社会	60分	100点	11:45～12:45
合計		350点	

注1: 2023年度の出題のバランスは、およそ基礎2:標準4:応用4とする。(2021年度・2022年度と同様)

注2: 各教科とも、思考力や判断力、表現力を重視した問題を含む。

注3: 理科と社会は同時に配布、時間内に両方回答する方式とする。

注4: 英語の出題レベルは、5年・6年で習う教科書の内容をきちんと学習していれば8割程度は得点できる問題。

[2]英語型入試

入試日: 1月17日(火)・1月25日(水)・2月5日(日)

教科	時間	配点	試験時間割
国語	50分	100点	9:00～9:50
算数	50分	100点	10:05～10:55
英語 (含リスニング15分程度)	60分	100点	11:10～12:10
合計		300点	

注1: 出願の際に、「英語学習履歴書」の入力が必要。

[3]適性型入試

入試日: 12月17日(土)・1月25日(水)

教科	時間	配点	試験時間割
適性型A	50分	100点	9:00～9:50
適性型B	50分	100点	10:05～10:55
英語(リスニング20分)	20分	50点	11:10～11:30
質問シート			11:40～11:50
合計		250点+5段階評価	

注1: 適性型A: 文章・資料等を総合的に読み解く。主に、読解力・分析力・表現力等を評価する問題。

注2: 適性型B: 理数的な総合問題を主に出题。発想力や思考力等を評価する問題。

注3: 英語の出題レベルは、5年・6年で習う教科書の内容をきちんと学習していれば8割程度は得点できる問題。

[4]帰国生入試

入試日: 11月19日(土)

教科	時間	配点	試験時間割
国語・算数	60分	150点	9:00～10:00
英語(エッセイ)	30分	50点	10:15～10:45
個別面接	10分	50点	10:50～
合計		250点	

注1: 帰国生の条件: 海外の学校に通算1年以上在籍し、帰国後3年以内の者(2019年11月1日以降に帰国)

注2: 出願の際に、「英語学習履歴書」の入力が必要。

受験料	1回のみ受験の場合	2万円
	複数回受験の場合	3万円

【2023年度中等部入試】

入試日・出願期間		合格発表・入学手続き日	
帰国生入試	入試日	11月19日(土) 定員：若干名	合格発表 11月22日(火) 10:00～インターネット発表のみ
	出願期間	11月1日(火)9:00～11月18日(金) 15:00	入学手続き 11月22日(火) 10:00～24日(木) 16:00 (入学・延納手続) インターネット上でのみ手続が可能です。 ■手続に関する詳細は、本校ホームページでご案内致します。 ■延納が認められるのは、2月5日(日) 16:00までです。 ■延納手続後、入学手続をされる場合、入学金決済サイトで手続を済ませ 必要書類を本校事務室にご提出ください。 ■海外在住のため、2月5日までに本校に来校することが難しい場合、中等 部入試担当までご連絡ください。
適性型入試	入試日	12月17日(土) 定員：30名	合格発表 12月20日(火) 10:00～インターネット・掲示発表
	出願期間	11月1日(火) 9:00～12月16日(金) 15:00	入学手続き 12月20日(火) 10:00～16:00 (入学・延納手続) 12月21日(水) 9:00～16:00 (入学・延納手続)
第1回入試	入試日	1月17日(火) 定員：180名 5科目型・英語型	合格発表 1月18日(水) 12:00～インターネット・掲示発表
	出願期間	11月21日(月) 9:00～1月16日(月) 15:00	入学手続き 1月18日(水) 12:00～16:00 (入学・延納手続) 1月19日(木) 9:00～16:00 (入学・延納手続)
第2回入試	入試日	1月25日(水) 定員：60名 5科目型・英語型・適性型	合格発表 1月27日(金) 10:00～インターネット・掲示発表
	出願期間	11月21日(月) 9:00～1月24日(火) 15:00	入学手続き 1月27日(金) 10:00～16:00 (入学・延納手続) 1月28日(土) 9:00～13:00 (入学・延納手続)
第3回入試	入試日	2月5日(日) 定員：30名 5科目型・英語型	合格発表 2月6日(月) 10:00～インターネット・掲示発表
	出願期間	11月21日(月) 9:00～2月4日(土) 23:30	入学手続き 2月6日(月) 10:00～16:00 (入学手続) 2月7日(火) 9:00～16:00 (入学手続)
■全ての入試において、延納が認められるのは2月5日(日) 16:00までです。			

中等部入試問題の出題傾向と特色

【国語】

学習指導要領が新しくなり、そこでは単なる知識ではなく、「思考力・判断力・表現力」が要求されます。それを踏まえ、本校が受験生に求めたいのは、少々難しい文章でもあきらめずに内容を考えながら読み進めていく力であり、そこで筆者が何を伝えようとしているのかを見極める力であり、自分が考えた内容を正しく人に伝えようとする力です。入試問題もそうした力を確認するための出題となっています。

〈問題構成〉

長文読解の総合問題を二題出題します。文学的な文章（小説または随筆）が一題、論理的な文章（評論等）が一題です。小学生にとっては手強い文章が出題されることもありますので、普段から難しめの文章に慣れておく必要があるでしょう。漢字やことわざ、慣用句、語句の意味といった基本事項を問う設問から、標準的な読解問題、思考力を問う出題まで多様な視点から学力が試されます。単純な暗記だけでは高得点は取れません。第二問の最後の問題は要約問題または記述問題で、百字以内で解答することを求めます。

〈問題傾向〉

- ①文学的な文章では主に、話の筋を正しく把握できているかを問う問題や、登場人物の行動の理由や心情を読み取る問題などを出題します。読み手が勝手な解釈をするのではなく、書き手がどういうことを書こうとしているのかを読み取れているかどうかを問います。
- ②論理的な文章では、どのような具体例を挙げているか、何について説明しているのか、同じ内容を言い換えているところはないかなど、オーソドックスな出題が主となりますが、よく考えて解答しないとミスをする問題もあります。普段からキーワードや接続語などに傍線を引きながら読み進めるなど、解答となる箇所や考えるヒントとなる箇所をすぐ探し出せる工夫をしましょう。
- ③選択問題、論述問題、抜き出し問題いずれもあります。論述問題は条件を正確に把握すること、抜き出し問題は正確に抜き出すことを意識しましょう。
- ④漢字の書き取り問題は一割程度の配点で出題します。
（トメ・ハネ・ハライなどの細かな部分は不問としますが、一点一画を疎かにせず、読みやすい文字を書くことが大切です）
- ⑤慣用句、ことわざ、四字熟語などの知識問題も出題します。文学史の問題は出題しません。
- ⑥論述問題（文章要約や筆者の主張のまとめなど）を出題します。範囲指定された文章を八十字～百字以内でまとめる問題です。指定された条件に従い、内容を整理して書きましょう。

〈求める力・学習における注意点〉

①語彙力を身につけましょう

多くの言葉の正確な意味を知っていることは思考力を高める上で大切です。歯ごたえのある書物をじっくりと読むことで、知っている言葉、使える言葉が増えます。辞書をいつも手元に置き、知らない言葉の意味を調べる習慣をつけましょう。また、ことわざ、慣用句、故事成語、対義語、同音異義語などの知識を増やし、読解力と表現力を高めてください。

②文章を考えながらじっくりと読みましょう

難しい内容の文章であっても、安易に投げ出さず、文章の内容について理解できるまで考えながら読む習慣を身につけてください。思考力は、自分にとって難しいと感じるレベルの本に取り組むことで身に付きます。

③正確で分かり易い文章を書きましょう

自分の考えは、書くことによって初めて明確になります。正確な文章を書くということは、物事について正確に考えるということにつながります。正確で分かり易い文章を書く力は一朝一

夕では身に付きません。国語の問題を解くときは、必ずノートに答えを書きましょう。自分の答案を先生に添削してもらうことも、表現力を高める上でとても役に立ちます。また、正確な文字を書くことも国語の大切な力です。漢字はもちろん、仮名についても丁寧に、その言葉の意味を考えながら書くように努めましょう。

【算数】

中部部では数学を苦手教科にしないで得意教科にすることが大切です。中学入試の今の時点から教科書や参考書、テキストの学習に漏れがなく、本質を理解し、基礎学力を定着させることが必要です。その基礎学力となる内容が中部部での学習につながるものであり、この内容を中部部入試では出題しています。

まず授業を第一とすることが大切です。授業を真剣に受ける姿勢が学力を向上させ、得意教科にするためには大切です。

次に「自分でやる」という、主体的に学習する姿勢を身につけることが必要です。学校での授業を受け、それを家庭学習につなげ、予習や復習を意欲的に行う姿勢を身につけることが大切です。授業でインプットしたことを家庭での復習においてアウトプットすることで確実に授業内容が定着します。問題演習の解答の書き方においては、他の人に説明をするように分かりやすくノートにまとめることを日頃から心がけることで、読み手に自分の考えたことが伝わる良い答案を書くことができるようになります。

中部部での数学学習は、学習指導要領にありますように、「数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成すること」を目指しています。

数学の学習を通して、与えられた情報をどのように分析し、組み合わせ、そして問題を解決していくのかを学んでもらいたいと思います。数学は「考え方」を学ぶ教科です。教科書で学ぶ基本事項をスタートとして、奥深い数学の世界で頭を使い様々な問題を自分の力で解いていくことを楽しめるような生徒の入学を期待しています。

〈問題構成〉

試験時間は50分で、100点満点です。大問を6題出題する予定です。解答形式は、答えのみ解答する問題と、途中計算や思考過程も含めて解答する問題があります。作図問題(図や線を描いて解答する問題)が出題される場合がありますが、フリーハンドで解答できる出題形式となっています。また、必要な単位についてはあらかじめ解答用紙に印刷してあります。

〈問題の傾向〉

大問1は、四則計算と小問集合を出題します。基本問題を出題しますが、毎年計算ミスなどが目立ちます。基礎を確実に固め、本番で確実に得点できるように、多くの問題を解き練習しておくことが必要です。加えて、日々の計算練習も欠かせません。計算問題で練習するだけでなく、応用問題を解くときにも自分の手で最後の答えまでたどり着けるように心がけて学習することも大切です。

応用問題は5題出題する予定です。出題範囲は過去問題集でも分析されているように、計算問題、文章題、平面図形、空間図形、場合の数、規則性に関する問題、グラフを使った問題など、さまざまな分野の問題が出題されます。偏りなくいろいろなパターンの問題を勉強しておくことが必要です。特に図形の角度・長さ・面積や場合の数、規則性に関する問題などがやや多く出題されています。

〈求める力・入試で判断する力〉

①偏り無く幅広く理解する力

自分の好きな分野だけではなく、苦手な分野の問題にも挑戦し、克服できるようにしましょう。偏った学習を続けたまま中学受験をし、合格できたとしても、入学してからの数学の学習で苦勞をすることになります。

②標準的な問題を確実に理解し解く思考力

難しそうに見える問題も、結局は基本・標準問題の組合せでしかありません。見た目に惑わされずにしっかりと問題文を読み、内容を読み取り、落ち着いて解くようにしましょう。使用しているテキストや参考書の問題を全て身につけておくことが大切です。

③素早い計算力

四則計算の問題を含め、計算力を見る問題が出題されていますので、毎日の計算練習をしっかりと行いましょう。問題を速く解くことができれば、その分の時間を他の応用問題を解く

時間にあてることが可能です。即ち、素早い計算力があれば他の受験生よりも多くの時間を使い入試問題を解くことが出来るのです。

【社会】

社会科の入試問題は、地理・歴史・公民の3つの分野から広く出題します。

3年前までは、「試験時間40分・配点100点」で試験を実施していたため、1回あたり40問程度の小問を出題していました。しかし、一昨年度から「試験時間60分（理科と併せて）・配点50点」での実施となることから、全体の問題数を減らしています。また、分野別問題数としては、歴史分野からやや多めに出題しており、次いで地理分野、公民分野の順で問題数が多くなっています。

近年は、基礎的な知識・情報の理解を確認する問題だけでなく、これまでに身に付けた知識や情報を整理・分析したり、身の回りに存在する様々な社会課題について考察したりする問いの出題を増やしています。それは、変化の激しい時代を生き抜く資質・能力を備えた「心豊かなリーダー」としての《ポテンシャル》を測りたいと考えているためです。このような資質・能力は、教育改革・大学入試改革の進展に伴って大きく注目されていますが、【学校】や【入試】といった枠に囚われることなく、広く受験生の皆さんに身に付けて欲しいと考えています。

そのような観点から、既存の知識や情報を組み合わせて論理的に思考する力、そして、自らの意見や考えを筋道立てて表現する力などを測るために、記述・論述問題やテーマ文読解に関する問いの出題を増やしています。さらに、山積する課題を「ジブンゴト」と捉え、その解決に向けて前向きに行動を起こして欲しいという願いから、例年現代社会や時事問題に関する問いを出題しています。

また、漢字で解答することを求める問いを毎年必ず出題しています。それは、基本的な語句を正しく覚えることが、1つ1つの事柄の本質を理解するファーストステップであると考えているためです。従って、漢字指定の問題については、誤字や「かな」での解答は得点に結び付きません。日頃から「漢字で書けるものは漢字で書く」習慣を身につけるように心がけてください。

以下では、各分野における出題方針について説明します。

【地理分野の出題方針】

本校の地理分野では、これまで日本地理を重視して出題して参りました。しかし、日本と世界のつながりを強く意識して欲しいという願いから、近年は世界地理に関する問いを出題することが増えており、今後もその方針を踏襲する予定です。また、身近な地域の姿に目を向けて欲しいという考えから、地形図の読図や統計データ（表・グラフ）の読み取りに関する問いを出題しています。難問や奇問は出題しません。基本的な事柄が身についているかどうかを確認する問題が中心です。

【歴史分野の出題方針】

本校の歴史分野では、3回の入試を通して、様々な時代から出題する予定です。基本事項を正しく漢字で書けるか、歴史的な事象を正しく理解できているか、歴史的な事柄を自分の言葉で述べられるか、を意識して勉強を進めて下さい。出題形式としては、選択問題・記述問題・正誤判定問題・文章記述が中心となります。知識量を問うような難問よりも、歴史を理解する上で必要な事柄を覚えているか、理解しているか、表現できるか、を問いたいと考えています。受験生の皆さんには、暗記に止まらない主体的な学習を期待します。

【公民分野の出題方針】

本校の公民分野では、以下の2つを特に重視しています。

第一に、「平易な文章をきちんと読みこなす力」です。様々な価値観を有する人々との対立・衝突を避け、よりよい社会を作り上げるために行動することが求められる現代において、会話や文章から話し手や書き手の「メッセージ」を読み取る力は、もはや必要不可欠なものとなっています。社会の担い手たるにふさわしい読解力を身に付けて欲しいという願いから、メッセージ性の高い文章を読んで解答を導き出す問いを出題しています。

第二に、小学校修了段階で身に付けて欲しい公民的素養として、「日本国憲法に関する基礎的・基本的な知識を理解する力」です。本校の入試問題では、伝統的に日本国憲法の理解に関する問題を多く出題しています。条文の暗記といった表面的な理解に留まることなく、日本国憲法に込められた理念やその特徴について深く理解して欲しいと考えています。

【理科】

＜本校理科のアドミッション・ポリシー＞

本校理科においては「日常生活と社会との関連を図りながら自然科学への関心を高め、目的意識を持って実験・観察などを行い、探求する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。」という目標に沿って、中等部・高等部ともに日々の学習指導が実践されています。

理科（自然科学）とは、生物と環境、物質とエネルギー、地球と宇宙など、私たちを取りまく自然の謎を解き明かし、人類の英知を高めると同時に、広く社会の進歩に貢献することを目指す学問です。そのような目的を達成するためにも、本校理科としては次のような人の入学を求めています。

- ・自然界の不思議に関心を持ち、それらを解明したいと思っている人
- ・理科（自然科学）に魅力を感じ、もっと学びたいと思っている人
- ・理科（自然科学）を勉強し、社会の様々な分野で貢献したいと思っている人

※今年度も「試験時間（社会と合わせて）60分・配点50点ずつ」となります。

＜出題の目的＞

上記のアドミッション・ポリシーの内容を確認するため、中等部入試問題においても「実験・観察・観測を通して文章や表、グラフから科学現象を読解する力」「科学的な思考力」「計算力」など、自然科学を多角的に考えることができる力を身に付けているかを判断する作問を行っています。

＜問題構成＞

大問の数は4問です。出題範囲は、「運動とエネルギー」、「物質と変化」、「生物と環境」、「地球と宇宙」です。小問の数は25問程度となります。解答形式は記号選択や適語の記入、計算問題、文章による記述問題、作図やグラフの記入などです。大学入試等の変化を受け、より思考力を要する出題になっています。下記①～④の各分野について、実験・観察・観測を通して、文章や表、グラフから科学現象を読解する力や、科学的な思考力、計算力をみる問題を出題します。

- ①物理分野である「運動とエネルギー」からは力と運動、電気と磁石、光と音に関する問題
- ②化学分野である「物質と変化」からは気体・水溶液・金属の性質や溶解・燃焼に関する問題
- ③生物分野である「生物と環境」からは人体や植物、動物に関する問題
- ④地学分野である「地球と宇宙」からは天体、気象、地形に関する問題

＜求める力・学習における注意点＞

学習方法で大切なことは、断片的な知識を暗記していくのではなく、さまざまな現象について「なぜだろう？」「どうして？」という気持ちを持ち続けながら、その疑問を解決していくことです。単なる知識の暗記ではなく、正しく論理立てて考え、疑問を解決していくような力をつけてください。また、早く正確に解ける計算力もつけるよう心がけてください。より思考力を試す問題となっていますから、過去問の中でも比較的難易度が高い問題にチャレンジして学習してほしいと思います。

【英語】

- ・江戸取では、グローバル社会を見越して国際社会の礎として活躍できる「心豊かなリーダーの育成」を教育理念に掲げており、高いコミュニケーション能力や多様な文化・価値観を理解する柔軟な知性を備えた「世界型人材」を目指しています。
- ・入試においては、言語としての英語の知識だけではなく、論理的に物事を考える力や、コミュニケーションツールとして英語を運用できる力を試します。

5科目型

適性型

2022度から始まった英語（必須）は、5科目型と適性型で実施いたします。すべて放送機器によるリスニング形式で出題されます。放送時間は20分前後で、50点満点です。公立小学校で用いる検定教科書のレベルより高い英語力は一切問いません。また、英単語を記述させる問題は一切出題しません。

記号や数字で答える問題のみ出題します。

5年生・6年生に行われる小学校の英語の授業にきちんと参加して、授業内容を理解していれば、大きな不安を抱える必要はありません。本校のコンセプトである「授業が一番」を実践している生徒の受験を期待します。

- ①出題レベルは、小学校で用いる検定教科書のレベルです。日常生活で使う英単語や、身の周りで行われる簡単な英会話が出題されます。
- ②動物、食べ物、スポーツ、曜日、天気などを表す基本的な英単語を聞いて、問題用紙のイラストから選ぶ問題が出題されます。
- ③短い英文を聞き、その内容を最も適切に表しているイラストを選ぶ問題が出題されます。
- ④聞き取った英単語が、問題用紙に書かれた英単語と一致しているかを問う問題が出題されます。
- ⑤数字を聞き取り、その意味を理解して運用できるかを問う問題が出題されます。
- ⑥聞き取った英会話の情報と、問題用紙の図やグラフを照合して、思考する問題が出題されます。

英語型

英語型の受験には、インターネット出願ページ内の「英語学習履歴書」の入力が必要です。英検などの検定試験の級やスコアの証明書がある場合は添付してください。「英語学習履歴書」の内容は合否判定上、優遇されます。

- ① 出題レベルは、CEFR（国際標準規格）で A1 から A2 程度、実用英語検定で 3 級から準 2 級程度となります。ただし、マーク形式ではなく、選択式と記述式を併用します。小学 6 年生という年齢を考えて、極端に抽象度の高い英文や難単語は出題しません。
- ② 語彙力を試す問題を出題します。日常生活で使用するような語句を正しい綴りで書けるかどうかを確認する問題です。
- ③ 文法知識が身に付いているかを測る問題を出題します。文法問題は、4 択式・共通語句選択・並べ替え・正誤指摘等、様々な形式の中から出題します。
- ④ 英文読解能力を測る問題を出題します。小説・エッセイ・論説など、幅広い分野からの出題になります。英文の内容が理解できているかを確認します。
- ⑤ 思考力や表現力を問う問題を出題します。例えば、英語の説明文を読んで何が説明されているかを答えたり、意味の通る会話になるように質問と応答を組み合わせたり、自分の考えを英語で述べたりするなど、論理的に物事を考えることができるかどうかを確認します。
- ⑥ 放送機器を用いた、いわゆる「リスニング」の出題が 15 分程度あります。

以上、多岐に渡る出題形式により、総合的な英語力を測ります。特に、思考力や表現力を試す問題の配点が高くなっています。そのことを踏まえた上で学習に取り組んでください。

【模擬問題】

1. 次の 4 人は江戸取探究学習プロジェクトの準備をする中で、太宰治、宮沢賢治、芥川龍之介、夏目漱石のいずれかの作家をそれぞれが 1 人ずつ調べて発表することにしました。ナオヤが選んだ作家名を日本語で答えなさい。

タクマ : I was moved by “The Night of the Milky Way Train” so I want to know about its writer.

アツシ : I don't like Osamu Dazai and Naoya doesn't like him, either.

ユウト : I studied about “Run, Melos!” and its writer.

ナオヤ : Atsushi has read “Rashomon” many times and he is researching about Akutagawa.

2. 新しいレストランの名前について、4 人の客が感想を述べています。会話文からレストランの名前を予想して、漢字 1 字で答えなさい。

A: The restaurant's owner is Kazuya. So I think he named the restaurant after his name.

B: It has eight strokes. Simple and nice name, isn't it?

C: This kanji is used in the name of the Japanese era that we are in today.

D: I imagine this kanji to be soft and traditional. We use this kanji in the words, “harmony, “peace” and “Japanese food” in Japan.

帰国生入試

2023度から帰国生入試の英語は、エッセイライティング形式で出題されます。解答時間は30分で、50点満点です。また10分程度の個別面接を行い、50点満点で点数をつけます。

帰国生入試の受験資格は「海外の学校に通算1年以上在籍し、帰国後3年以内であること」です。また、インターネット出願ページ内の「英語学習履歴書」の入力が必要です。英検などの検定試験の級やスコアの証明書がある場合は添付してください。「英語学習履歴書」の内容は合否判定上、優遇されます。

出題レベルは、CEFR（国際標準規格）でA1からA2程度、実用英語検定で3級から準2級程度となります。評価のポイントとしては、内容・構成・文法・語彙とします。重要なことは、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点を適切に表現できることです。難しい文を無理に作ろうとせず、易しい文をずっと作れる力をつけましょう。複雑な文を作ることよりも間違いの無い文で伝えることが重要です。総語数は80語程度となります。字数制限内におさめることもポイントとなります。

【模擬問題】

1. 小学校の6年間で一番頑張ったことを、できるだけ具体的に英語で述べなさい。

適性型

【適性A】

1. 概要

適性Aでは、文章資料、非文章資料の両方において、それらを読み解く力、複数の資料を比較する力、文章資料を読んで自分の考えを書く力を問う問題が出題されます。大問は3題で構成されており、問題は論述問題が中心となります。具体的には、SDGsに代表されるような、私たちが生活する社会の課題とその解決策に対して日常的に関心を持ち、考えることができるか、そして、それを自分の言葉で伝えることができるかを、問題を通して問うていきます。

2021年度入試では、第1問で表やグラフを読み解き、それを自分の言葉で伝える力、図で示された事柄を文章化する力、論点を文章や表、グラフから読み取ってまとめる力が、第2問では社会問題に関する資料を複数読んで自分の言葉で説明する力やグラフを読み取ってまとめる力が、第3問では比較的長い文章内容をまとめたうえで、自分の意見を表現する力が問われていました。これらの過去問題を参考にして、日常的な課題を様々な角度から読み取り、自分なりの答えを見つけ出す力を養っておくようにしてください。

2. 課題文型作文について

（1）受験生に求める力→①読解力 ②思考力 ③表現力

与えられた文章を読み、筆者の主張を読み取ったうえで、自分の考えや意見を表現するという力が求められます。自分の考えや意見を他者に伝えるためには、工夫が必要です。例えば、あるテーマについて「私は～すべきだと考える」とか「私は～したいと思う」という意見だけでは説得力に欠けます。大切なのは、その主張を裏付ける根拠や具体例となる事柄を示すことです。これまでに自分が経験したことや見聞したことなどを文章に入れることで、文章にその人ならではの独自性や説得力が出てきます。普段の読書活動や問題演習などの際にも、文章をなんとなく読むのではなく、問題意識を持ち「自分ならどうするか」や「どう考えるか」と自問自答してみる習慣を付けると良いでしょう。文章を他人事ではなく自分事として理解するいわば「パーソナル・リーディング」を行って下さい。また、自分が書いたものは必ず周囲の大人の人に見せて、添削や助言をもらいましょう。自分では書けた、もしくは表現できたつもりでも、それを読んだ相手がその通りに理解したかどうかは分かりません。作文の力は、書くことでしか身につけません。ぜひ失敗を恐れずに自分の考えや意見を他者に向けて表現する練習をしておくようにしましょう。他者意識を持って練習に励むことで表現力が磨かれていくはずです。

（2）書く際の注意事項

- ①解答用紙は、横書きです。
- ②文字数や段落構成などは、設問の条件に従ってください。

- ③小学校で習う漢字は、できるだけ漢字を使いましょう。
④表現を書き直したり、付け加えたりする場合は、二重線で訂正するのではなく、消しゴムで消した上で書き直してください。

【適性B】

適性Bは、身の回りにあるもの、出来事などを対象に算数や理科の知識をもとに考えるものになります。身の回りにあるものの規則性を発見し、また、自然の変化を深く知るためには、問題を発見する力、データを収集する力、まとめる力、規則性を見出す力、表現する力が必要になります。このような力を図ることが本試験の目的になります。本試験を受験する際には、以下の3点を意識していただきたいと思います。

- ① 文章をよく読む（読解力）
- ② 設定を理解する（理解力）
- ③ 知識を重ね合わせる（思考力）

問題文は会話文形式で構成されており、会話の中にある空欄補充問題、計算問題などが主なものですが、中には考えを文章や図、グラフで表現するものも含まれます。どの出題についても、会話文からの出題が中心となっていますので、会話文をよく読んで情報を整理し、何を聞かれているのか、何をまとめるのか、どう答えるのかを判断することが大切です。

～ 2022 年度第 1 回適性型の入試問題より

- 大問 1. 会話文を正しく読解する力と、読解した解法を的確に応用する力や表現する力を問いました。問題 1 や問題 2 では、与えられた図を利用して実際に数え上げて正解にたどり着くことができますが、問題 3 を正解するためには、一般化された解法を会話文から読み解き、それを応用する力が必要不可欠です。
- 大問 2. 特定外来生物をテーマに生物の多様性と外来生物がもたらす影響について問いました。グラフの読み方や地図上の点の共通点を把握できるかどうか重要です。普段から様々な情報、ニュースに関心を持っている受験生は、内容も取り組みやすく解答しやすかったかもしれません。
- 大問 3. これから数学を学ぶ上で重要となる「数の規則性」を把握する力を問いました。いずれの問いも得点率が高く、合格するには必ず正解したい問題でした。
- 大問 4. 会話文をもとに温度と湿度の関係から、熱中症の起こりやすさについて問いました。計算問題で解答に至らなかった受験生が多くいましたが、その他の質問は文中の内容、普段の学習の内容がヒントになっています。実験器具の扱い方などはしっかり把握してほしいところです。
- 大問 5. 宮澤賢司の小説より地質学に関する内容を問いました。岩石の種類やでき方について、小説中にヒントがあることから、しっかりと読み、状況を把握する力が必要です。また、火山の噴火時の太陽の見え方については、正答率が低かったようです。その現象そのものを知らなくても、なぜ夕日は赤く見えるのかなど、日常の自然現象に興味を持っていると、それがヒントになることがあります。
- 大問 6. 本問が受験生の読解力や表現力に大きな差が現れた、いわゆる「合否を分ける 1 題」でした。誤答案の多くは、問題文を正しく読み取れていない、あるいは一部分だけを読み取ったようなものでした。大きく分けると 2 通りの解法が考えられますが、いずれの方法においても解答する上で大切なのは、自分の考えを正しく、筋道を立てて記述できることです。

問題文や小問の構成が、これらの解答に対するヒントになっていることも大きな特徴でした。一見すると不要に思える所も含め、文章全体をしっかりと読み解いて下さい。

江戸川学園取手中学校 入学試験 Q&A

【コース制について】

Q1. 入学後にコースの変更は可能ですか。

- A. 中高時代は本当の自分に出会うための適性や可能性を発見してほしい、早い時期から本気で自分の将来を考えてほしいということでコース制になっています。本人の希望と成績など、一定の条件を満たせば年度ごとにコース異動も認めています。しかし、早い段階で自分の志望を絞り込むことは、生徒たちの夢を現実化するなによりの力になると考えています。志をともにする仲間たちと刺激し合いながら勉強にも真剣に取り組めるように、学校も全力でサポートしていきたいと考えています。

Q2. 各コースの基準点はどのくらいですか。

- A. 全受験生の平均点を5割としたとき、医科・東大ジュニアコースの合格点は約7割、難関大ジュニアコースの合格点は約6割を想定しています。

Q3. スライド合格はありますか。

- A. あります。東大ジュニアコースまたは医科ジュニアコースの基準に届かなくても、難関大ジュニアコースの基準に達していればスライド合格となります。その逆はありません。

Q4. スライド合格になった場合、希望のコースに再チャレンジはできますか。

- A. できます。スライド合格になった場合、その後に行われる入試で希望のコース(東大ジュニアまたは医科ジュニア)に再びチャレンジできます。再チャレンジを希望される場合は、必ず入試担当者に申請してください。専用の用紙(合格発表会場にあります)に必要事項を記載していただきます。再チャレンジのお手続きをされたとしても、入学または延納のお手続きをされない場合は、一切の手続を辞退したものとみなしますので、ご注意ください。再チャレンジを複数回する場合も、入学または延納のお手続きは一回のみとなります。

* 再度スライド合格になった場合も、合格書類は準備しておりますので、必ずお受け取りください。

* 再チャレンジで希望のコースに合格したり、特待合格したりした際は、必ず書類をお受け取りください。

もし、書類を受け取らなかった場合は、合格したコースや特待の権利が失われます。

* 第3回入試での再チャレンジの場合には2月5日16時までに必ず入学手続きを完了して下さい。詳しくは入学試験要項でご確認ください。

【学校見学について】

Q1. 学校見学はできますか。

- A. できます。必ず事前に入試担当者に電話で予約をしてください(学校代表番号 0297-74-8771)。受験学年でなくても構いません。なお、新型コロナウイルス感染症の蔓延などの理由により、お断りさせていただく場合があることをご了承ください。

Q2. 受験生が参加・見学できる行事はありますか。

- A. 今年度はオープンスクール(7月)と紫峰祭(10月)が公開行事となる予定です。ただし、新型コロナウイルス感染症の蔓延などの理由により、変更の可能性がありますので、本校 HP を定期的にご確認ください。

Q3. 入試説明会は何回ありますか。

- A. 本校を会場とする今年度の入試説明会は、①9月10日(土)②10月15日(土)③11月26日(土)の3回、本校の大ホールで行います。開始時刻はいずれも10時00分です。教育内容の説明はもちろんのこと、学校紹介 DVD の上映や授業・施設見学もあります。説明会の後には、個別相談も行います。事前の申込みが必要になるのでご注意ください。今後の情勢次第で変更の可能性がありますので、本校 HP を定期的にご確認ください。
※説明会の日程は、P. 23をご参照ください。

Q4. 外部で行う入試説明会は何回ありますか。

- A. 外部での説明会は、7月30日(土)10時につくば(つくば国際会議場)、8月6日(土)10時に水戸(常陽芸文センター)、9月17日(土)10時に新御茶ノ水(御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター)の3回行う予定です。教育内容の説明はもちろんのこと、学校紹介 DVD の上映などがあります。説明会の後には、個別相談も行っています。学校内で行う入試説明会と同様に、事前の申込みが必要になるのでご注意ください。今後の情勢次第で変更の可能性がありますので、本校 HP を定期的にご確認ください。

Q5. 学校に駐車場はありますか。

- A. あります。行事の時などは校内の駐車場を開放します。ただし、駐車スペース(約100台程度)に限りがありますので、7月のオープンスクールや10月の紫峰祭、入試当日はできるだけ電車やバスなどの公共交通機関をご利用ください。

【学校生活について】

Q1. 始業時刻・下校時刻は何時ですか。

- A. 始業時刻は8時30分です。教室には7時00分から入れます。生徒たちは、早く登校して朝学習や朝読書を行っています。最終下校時刻は、水曜日は17時、土曜日は15時30分、それ以外は18時です。なお、届け出によって放課後の延長学習が認められます。部活動も大会前の練習などが許可制によって延長できます。

Q2. 取手駅から学校までは全員徒歩ですか。

- A. 生徒には徒歩通学を勧めていますが、強制ではありません。JR常磐線の取手駅から路線バスが出ていますので、その利用もできます。徒歩通学をすると徒歩カードに担任が印を押します。カード1枚が終わるごとに賞状や景品がもらえます。徒歩通学用に規定品のウォーキングシューズもあります。

Q3. 土曜日に授業はありますか。

- A. 基本的には隔週で授業があります。それ以外には体育祭や紫峰祭などの行事が入ることがあります。

Q4. 小学校は給食でしたが、江戸取はどうなっていますか。

- A. 給食はありません。お弁当を持参する生徒が多いですが、校内に食堂があり朝7時30分から8時30分まで、昼休み、授業後から17時30分(※水曜日の放課後営業はありません)まで営業しています。朝はおにぎりやパンなどの軽食、昼食時はパン・弁当・軽食・定食、夕食時は、軽食・定食などを購入することができます。コミュニティホールというカフェテリアがあり、そこで食事をとることができます。

Q5. 1クラスの数はいくつですか。

- A. 40人以内です。

Q6. 男女の人数の比はどれくらいですか。

- A. 入試の合否判定で男女の差をつけていません。男女比については、2022年度は、中等部全体で男子が約52%、女子が約48%となっています。

Q7. 1学年は何クラスですか。

- A. 中等部は現在8クラスです。

Q8. クラス替えは毎年ありますか。

- A. あります。なお、上述の通り、条件を満たせばコース異動も可能です。

Q9. 理系・文系にはいつ分かりますか。

- A. 高校2年から理系か文系の選択をすることになります。

Q10. 理系・文系比率はどのくらいですか。

- A. およそ6(理):4(文)の割合です。なお、医科コースを除くと、およそ5:5の割合になります。

Q11. 携帯電話は持ち込めますか。

- A. 携帯電話は登録制となっています。中等部生については、登校した時に電源を切って担任に預けて、下校する時に担任から受け取ります。高等部生については自己管理として、鍵がかけられるロッカーに保管することになります。校内では指定場所以外での使用は原則禁止です。校外での使用は、公共の場所であることを踏まえ、社会通念上のルール・マナーに則った使用(歩きスマホをしない等)を指導しています。

Q12. 教科の年間指導計画はありますか。

- A. 本校には「シラバス」という各科目の学習進度表があり、内容と解説が中学1年から高校3年までまとめられています。入学後は、本校のホームページ上で自由に閲覧できます。

Q13. 授業についていけない生徒にはどのように対応してくれますか。

- A. 日頃の授業で小テストを行い、力のついていない生徒には教科担当ごとに追試や補習等を行っています。

Q14. 学習塾に通う必要はありますか。

- A. 必要ありません。学校での授業の予習・復習・宿題をすることで十分な学力が身に付きます。放課後にはアフタースクール(有料※一部講座無料)や学習会などがあります。

Q15. 英会話の授業には特色がありますか。

- A. ネイティブスピーカーの教師4名が英会話の授業を担当しています。各学年とも英会話は週1コマあり、英語のみで授業を行っています。また、ESS(英会話同好会)も精力的に活動しています。

Q16. アフタースクールとはどのようなものですか。

- A. 放課後または長期休暇中に実施している課外講座です。大学受験に直結した講座や授業内容を定着させるための学習講座、英語4技能講座、高大連携講座、キャリア教育系講座、芸術系講座など生徒たちの多様性や個性的な能力の開発に資する講座などが設定されています。本校HPから申し込むことができ、受講料は受益者負担(プリント代や空調費など)程度できわめて安価です。

Q17. 部活動と学習の両立は可能ですか。

- A. 本校には、運動部が17部、文化部が11部、同好会が19団体の計47団体あり、毎年中高生ともに約7割の生徒たちが参加しています。仲間と切磋琢磨することが、学業にも大いに活かされており、部活動に熱心に取り組む生徒ほど、しっかりと両立することができています。無理に入部する必要はありませんが、部活動に参加し文武両道を目指して頑張ることで学習効果が高まります。

Q18. 部活は毎日ありますか。朝練はありますか。

- A. 活動日は部によって異なります。アフタースクールなどもありますので、自分の出られる曜日に参加すればよいです。朝練は原則ありませんが、自主練で活動している部活もあります。

Q19. 校則が厳しいと聞いたのですが。

- A. 制服をきちんと着こなしたり、挨拶をきちんとしたりすることなど基本的な生活習慣が身に付くように指導しています。心の教育によって規範意識を育てることに重きを置いています。規律は思いやりです。江戸取生として守るべきルールはありますが、いずれも安心して、夢や目標に向かって努力する環境を整える為のものです。

Q20. 高等部に進学するのに試験はありますか。

- A. 選抜試験は行われません。医科コース及び東大コースへは本人の希望と成績をもとにコース選抜が行われます。基本的には全員が高等部に進学しますが、学習意欲が著しく欠ける生徒や生徒指導上問題のある生徒はその限りではありません。

Q21. 学校カウンセラーはいますか。

- A. います。大きな悩みだけではなく、学校生活への不安などについて気軽にカウンセリングを受けることができます。ご希望があれば生徒のみならず保護者のカウンセリングも行っています。

Q22. 学校の様子を知るにはどうすればよいですか。

- A. 江戸取のホームページがあります。学校案内に載っていない最新情報などを見ることができます。一部の内容は本校生徒及び在校生の保護者専用になっています。

Q23. 緊急連絡網はありますか。

- A. 江戸取では緊急連絡網ではなく、一斉配信メールで全家庭に登録してある携帯電話等にメールを送ります。悪天候で下校時間を早めたり、登校時間を遅らせたり、修学旅行や宿泊学習から戻ってくる時間等をお知らせしたりします。

Q24. 災害時には学校に泊まりますか。

- A. 泊まります。本校は地域の方々のための避難所に指定されています。江戸取には非常時用の乾パン、飲料水（ペットボトル）、毛布などを保管してあります。全生徒分の「防災備蓄品（個人用非常時持ち出しセット）」を購入しています。諸経費から充当しています。

Q25. 学校でかかる費用について教えてください。

- A. 主な費用は以下の通りです。

(1) 入学納入金と学費(2023年度)

入学納入金		入学後の毎月の納入金	
入 学 金	150,000円	授 業 料	30,000円
施設・設備費	200,000円	維 持 費	17,000円
		後 援 会 費	500円
		生 徒 会 費	500円
計	350,000円	計	48,000円

※寄付金・学債はありません。

(2) 3年間分の諸経費160,000円(予定)については以下の通りです。

＜内訳の参考＞

研修旅行費(約35,000円)、中2時探究学習費(約38,000円)補助、社会科見学費(各学年約10,000円)、イベント代金(3年間分)、日本スポーツ振興センター会費(3年間分)等です。残金が出た場合は、卒業対策費に充当します。

(3) 中3修学旅行 約130,000円

- (4) 学校規定品(制服一式・カバン・体育着・シューズなど必需品一式)
男子:約140,000円 女子:約150,000円
- (5) 教材費 各学年約1~2万円
- (6) iPad 使用にかかる費用・デジタル教材費 約120,000円

Q26. 宿泊学習の費用は分割払いができますか。

- A. 研修旅行(中学1年:諸経費から全て充当する)、探究学習(中学2年:諸経費から一部充当する)については一括払いとなります。修学旅行(中学3年)は分割払いもあります。

Q27. つくばセンターからスクールバスは出ていますか。

- A. つくばセンターからスクールバスが出ています。ただし、この路線に関しましては廃止予定となっております。つくば方面からの通学をお考えの場合、予めご了承ください。なお、TX 守谷駅と学校間に関しては、関東鉄道の路線バスが走行しており、それぞれの都合に合わせて登下校をしやすいようになりましたので、ご利用ください。

Q28. 自転車通学についてはどうなっていますか。

- A. 許可制です。茨城県在住であることと、学校から2.5km以上離れていることが基本的な条件です。県外在住者に関しては、個別に対応します。なお、中学生・高校生ともに、ヘルメット着用(安全協会SGマーク入り)が義務づけられています。

【出願に関して】

Q1. 学校案内・入学試験要項はどこで手に入りますか。

- A. 本校事務室でお渡ししています。また、江戸取のホームページからも請求できます(無料)。入試説明会でも配布しておりますので、ぜひご参加ください。

Q2. 出願の方法はどのようになっていますか。

- A. インターネット出願となります。詳細は入学試験要項及び江戸取のホームページの「入試情報」内にある「入学試験要項」をお読みください。出願受付開始前に本校ホームページ上で詳細をご案内いたします。

Q3. 受験の書類に願書以外に必要なものはありますか。

- A. インターネット出願の際に願書に写真データをアップロードしていただきます。なお、後述します「帰国生入試」・「英語型入試」を希望する受験生は、インターネット出願ページ内の「英語学習履歴書」の入力、及び英検などの検定試験の級やスコアの証明書を添付し、送付していただきます。なお、調査書などの小学校からの書類は不要です。

Q4. 受験科目はどうなっていますか。

- A. 全ての受験生が、5科目型(国語・算数・理科・社会・英語)と英語型(国語・算数・英語)を選択して受験することができます。また11月19日の帰国生入試、12月17日と1月25日に適性型(適性型A・適性型B・英語・質問シート)を選択して受験することも可能です。出願時に選択してください。なお受験科目は、5科目型は、国語・算数(各100点・各50分)、理科・社会(併せて100点・計60分)、英語(50点・リスニングのみ20分)となり、英語型は国語・算数(各100点・各50分)、英語(100点・60分、うちリスニング15分程度)となります。適性型入試は適性型A・適性型B(各100点・各50分)、英語(50点・リスニングのみ20分)、質問シート(10分)です。5科目型と英語型の国語・算数は同一問題です。帰国生入試に関しては、後述のQ&Aを参照してください。

Q5. 英語型の英語の試験レベルはどのくらいですか。

- A. CEFR(国際標準規格)でA1～A2「日常生活での基本的な表現を理解し、ごく簡単なやりとりができる英検3級程度」から、「日常生活での身近な事柄について簡単なやりとりができる英検準2級程度」を出題レベルとします。総合的な英語力を試す試験となります。

Q6. 適性型の「適性A」「適性B」はどのような試験ですか。

- A. 適性Aは「文章・資料等を総合的に読み解く。主に読解力・分析力・表現力等を評価する問題」を出題します。適性Bは「理数的な総合問題を主に。出題。発想力や思考力等を評価する問題」を出題します。

Q7. 5科目型と適性型の英語の試験レベルはどのくらいですか。

- A. 小学校5年、6年で習う教科書の内容をきちんと学習していれば8割程度は得点できる問題です。本校ホームページ「入試情報」のページに、英語(リスニング)20分のサンプル問題・解答用紙・模範解答・音声に掲載されていますので、ご参照ください。

Q8. 複数回受験をするほうがよいのですか。

- A. できるだけ複数回受験されることをお勧めいたします。受験料は、1回だけの受験は2万円、複数回受験は総額3万円で受験することができます。

Q9. 複数回受験すると優遇措置はありますか。

- A. 入学試験における優遇措置はありません。

Q10. 特待生制度はどのようになっていますか。

- A. 入試成績がきわめて優秀であると判断した生徒に対して特待生として合格発表を行います。A特待は入学納入金と授業料1年間免除で、1年ごとに継続を審査します。B特待は入学納入金の免除です。なお、A特待の基準は、全受験生の平均点を5割としたとき、約8割となります。

Q11. 特待の再チャレンジとはどのようなものですか。

- A. 特待合格できなかった場合には、そのあとの入試でも特待に再チャレンジできます。再チャレンジを希望される場合は、必ず募集担当者に申請してください。専用の用紙(合格発表会場にあります)に必要事項を記入していただきます。再チャレンジのお手続きをされたとしても、入学または延納のお手続きをされない場合、棄権とみなして合格取り消しとなりますのでご注意ください。また、2月5日の第3回入試での再チャレンジの場合には延納の期限である2月5日16時までに必ず入学手続きを完了して下さい。この日時までに入学手続きをされなかった場合、合格が取り消しとなってしまいます。

【帰国生受験について】

Q1. 帰国生入試の条件を教えてください。

- A. 海外の学校に通算1年以上在籍し、帰国後3年以内の者(2019年11月1日以降に帰国)です。

Q2. 海外の学校の在籍証明書や成績を提出する必要はありますか。

- A. 必要ありません。ただし、インターネット出願時に「英語学習履歴書」の入力が必要です。英検などの検定試験の級やスコアの証明書の写真を撮って貼付箇所にネット上で貼付してください。

Q3. 帰国生入試の科目は、一般と異なるのですか。

- A. 11月19日実施の帰国生の試験科目は国語・算数(併せて150点・計60分)、英語(50点・30分、エッセイライティング形式)、面接(50点、10分程度)となります。

Q4. 帰国生入試では面接を行いますか。

- A. 帰国生入試では、10分程度の受験生の個別面接を行います。個別面接は外国人教師と日本人教師の2名で行います。なお、英語による質問もあります。

Q5. 帰国生入試の英語の試験はどのくらいのレベルですか。

- A. CEFR(国際標準規格)でA1からA2程度(英検3級から準2級程度)を出題レベルとします。総合的な英語力を試す試験となります。

【入試当日について】

Q1. 試験会場には何時から入場できますか。

- A. 試験会場には午前7時から入場できます。

Q2. 駐車場はありますか。また入試時間中の保護者の控室はありますか。

- A. 現在調整中です。駐車場及び保護者控室に関する詳細は、入試日が近づきましたらホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

Q3. 遅刻をした場合にはどうなりますか。

- A. 8時40分が集合時間となります。30分(9時10分)までの遅刻は認めますが、試験は残り時間で受けることになります。時間にはゆとりを持ってご来校ください。

Q4. 受験票や願書を忘れた場合にはどうすればよいですか。

- A. 大事な書類になります。忘れないように細心の注意を払ってください。万が一忘れてしまった場合は当日入試本部に申し出てください。

Q5. 体調がすぐれない場合は受験できますか。

- A. 保健室での受験が可能です。その場合には、当日入試本部にお申し出ください。試験中に具合が悪くなった場合は、試験監督者にお知らせください。

※新型コロナウイルス感染症に関しては、その時点での感染状況と文部科学省から示されるガイドラインを基本にして対応いたします。

Q6. 会場に持ち込んでいけないものはありますか。

- A. 電源を切ることのできないキッズ携帯や計算機能などのついた腕時計です。

Q7. 試験問題にラインマーカーなどで印をつけてよいですか。

- A. 鉛筆のみでしるしをつけてください。

Q8. シャープペンシルは使ってよいですか。

- A. 構いません。替え芯は必ず用意してください。

Q9. 受験会場に保護者は入れますか。

- A. 入れませんので保護者控室でお待ちください。

Q10. 試験の休み時間に軽食を食べることはできますか。

- A. 昼食は各自お弁当になります。休み時間(15分)に飲食は可能です。他の受験生に迷惑にならないよう配慮をお願いします。

Q11. 試験終了後はすぐ帰れますか。

- A. 試験後諸連絡の時間があります。受験生を迎えにくる場合には、待ち合わせ場所を決めておくといいです。

Q12. 入試問題の出題傾向は怎么样了なっていますか。

- A. 全体的に基礎的な問題から中程度の問題、難度の高い問題までバランスよく出題していますので、基礎・基本を大切にしながら、過去の問題集等を参考にしてください。なお、コース制を採っておりますので、思考力を問う問題や記述式の問題を増やしています。(出題のバランスはおおよそ、基礎2:標準4:応用4 です。)

【合格発表について】

Q1. 合格発表はどのように行われますか。

- A. コースごとに発表を行います。スライド合格や特待合格も分かるように発表されます。

Q2. 合格発表はどこで行われますか。

- A. 合格者の受験番号の掲示発表は校内で行います。なお、合否の確認に関してはホームページ上で行うことができます。

Q3. 合格者の男女の比率は怎么样了なっていますか。

- A. 男女関係なく、総合得点による合否判定となりますので、合格者の比率は受験生の男女の人数や成績によって変わります。

Q4. 足切りはありますか。

- A. 科目ごとの足切りはありません。

Q5. 第1回入試で不合格だった場合は、2回目も3回目の受験できますか。

- A. 出願されていれば第2回入試、第3回入試も受験できますので複数回出願されることをお勧めいたします。

※その他、ご不明な点は中等部入試担当者にお問い合わせください。

江戸川学園取手中学校 TEL 0297(74)8771

2022年度中等部第1回入試結果情報

入試結果は、以下の通りとなりました。

- ・応募総数は788名、受験者総数は743名（欠席36名）でした。
- ・特待合格者は、A特待26名、B特待24名となります。
- ・5科目型入試は、応募者737名、受験者704名、合格者は405名（東大91名、医科71名、難関243名（スライド147名含））でした。
- ・英語型入試は、応募者38名、受験者36名、合格者は15名（東大3名、医科3名、難関9名（スライド5名含））でした。なお、合否判定は「英語学習履歴書」等を含めた総合判定となります。
- ・帰国生入試は、応募者4名、受験者3名、合格者は0名でした。
- ・合否判定は受験型ごとに行っています。
- ・合格基準は各コースとも男女同一であり、いっさい差はありません。
- ・5科目型入試は全て総合得点による合否判定となっています。

1. 入試結果一覧

項目	東大ジュニアコース			医科ジュニアコース			難関大ジュニアコース		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
応募者数	181	122	303	115	98	213	145	127	272
受験者数	169	112	281	107	94	201	139	122	261
合格者数	54	40	94	42	32	74	137	115	252 (スライド 含)
倍率	3.0			2.7			2.6		

2. 入試成績一覧

- ・各教科配点は、以下のようになります。
- ・5科目型入試 合計350点、国語100点、算数100点、理科・社会100点、英語50点
- ・英語型入試 合計300点、国語100点、算数100点、英語100点
- ・帰国生入試 合計300点、国語・算数150点、英語100点、面接50点

5科目型

項目	東大ジュニアコース					医科ジュニアコース					難関大ジュニアコース				
	国語	算数	英語	理科 社会	合計	国語	算数	英語	理科 社会	合計	国語	算数	英語	理科 社会	合計
受験者平均点	72.8	63.5	45.6	69.4	251.2	66.8	59.7	45.2	65.8	237.5	62.5	54.0	44.3	60.7	221.4
合格者平均点	82.8	73.7	46.7	76.8	280.0	77.7	72.4	46.3	74.5	270.9	73.5	67.1	44.9	70.1	255.6
教科別最高点 (合格者最低点)	100	92	50	92	329 (266)	100	96	50	91	313 (250)	100	87	50	87	303 (236)

2022年度中等部 1月25日第2回入試結果情報

入試結果は、以下の通りとなりました。

- ・応募総数は666名、受験者総数は440名（欠席226名）でした。
- ・特待合格者は、A特待7名、B特待10名となります。
- ・5科目型入試は、応募者516名、受験者321名、合格者は158名（東大41名、医科30名、難関87名（スライド64名含））でした。
- ・適性型入試は、応募者121名、受験者99名、合格者は24名（東大3名、医科4名、難関17名（スライド9名含））でした。
- ・英語型入試は、応募者27名、受験者19名、合格者は9名（東大2名、医科3名、難関4名（スライド3名含））でした。なお、合否判定は「英語学習履歴書」等を含めた総合判定となります。
- ・帰国生入試は、応募者2名、受験者1名、合格者は0名でした。
- ・合否判定は受験型ごとに行っています。
- ・合格基準は各コースとも男女同一であり、いっさい差はありません。
- ・5科目型入試は全て総合得点による合否判定となっています。

1. 入試結果一覧

項目	東大ジュニアコース			医科ジュニアコース			難関大ジュニアコース		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
応募者数	134	106	240	99	98	197	126	103	229
受験者数	85	75	160	70	68	138	79	63	142
合格者数	25	21	46	14	23	37	62	46	108 (スライド 含)
倍率	3.5			3.7			4.4		

2. 入試成績一覧

- ・各教科配点は、以下のようになります。
- ・5科目型入試 合計350点、国語100点、算数100点、理科・社会100点、英語50点
- ・英語型入試 合計300点、国語100点、算数100点、英語100点
- ・適性型入試 合計250点、適性A100点、適性B100点、英語50点、質問シート（5段階）

5科目型

項目	東大ジュニアコース					医科ジュニアコース					難関大ジュニアコース				
	国語	算数	英語	理科 社会	合計	国語	算数	英語	理科 社会	合計	国語	算数	英語	理科 社会	合計
受験者平均点	69.6	74.0	44.6	59.6	247.8	65.6	70.2	42.9	54.4	233.1	62.2	63.1	43.0	48.1	216.3
合格者平均点	78.4	83.7	46.4	68.5	277.0	77.7	80.1	44.3	63.8	265.9	74.5	76.8	43.0	61.6	255.8
教科別最高点 (合格者最低点)	95	100	50	81	320 (262)	90	96	50	81	299 (252)	92	91	50	75	286 (239)

適性型

項目	東大ジュニアコース				医科ジュニアコース				難関大ジュニアコース			
	適性 型A	適性 B	英語	合計	適性 型A	適性 B	英語	合計	適性 型A	適性 B	英語	合計
受験者平均点	53.7	41.7	49.6	144.9	50.0	39.9	49.1	139.0	49.4	36.8	49.2	135.4
合格者平均点	78.0	47.7	49.3	175.0	68.5	53.3	49.5	171.3	67.8	51.9	49.3	168.9
教科別最高点 (合格者最低点)	81	60	50	191 (167)	71	65	50	184 (166)	84	61	50	185 (160)

2022年度中等部 2月5日第3回入試結果情報

入試結果は、以下の通りとなりました。

- ・応募総数は557名、受験者総数は227名（欠席330名）でした。
- ・特待合格者は、A特待1名、B特待5名となります。
- ・5科目型入試は、応募者524名、受験者209名、合格者は59名（東大19名、医科20名、難関20名（スライド15名含））でした。
- ・英語型入試は、応募者29名、受験者15名、合格者は6名（東大1名、医科1名、難関4名（スライド2名含））でした。なお、合否判定は「英語学習履歴書」等を含めた総合判定となります。
- ・帰国生入試は、応募者4名、受験者3名、合格者は0名でした。
- ・合否判定は受験型ごとに行っています。
- ・合格基準は各コースとも男女同一であり、いっさい差はありません。
- ・5科目型入試は全て総合得点による合否判定となっています。

1. 入試結果一覧

項目	東大ジュニアコース			医科ジュニアコース			難関大ジュニアコース		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
応募者数	113	85	198	85	81	166	108	85	193
受験者数	35	32	67	41	37	78	46	36	82
合格者数	12	8	20	8	13	21	11	13	24 (スライド 含)
倍率	3.4			3.7			11.7		

2. 入試成績一覧

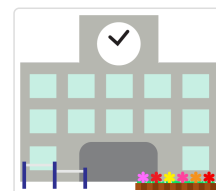
- ・各教科配点は、以下のようになります。
- ・5科目型入試 合計350点、国語100点、算数100点、理科・社会100点、英語50点
- ・英語型入試 合計300点、国語100点、算数100点、英語100点
- ・帰国生入試 合計300点、国語・算数150点、英語100点、面接50点

5科目型

項目	東大ジュニアコース					医科ジュニアコース					難関大ジュニアコース				
	国語	算数	英語	理科 社会	合計	国語	算数	英語	理科 社会	合計	国語	算数	英語	理科 社会	合計
受験者 平均 点	68.7	53.9	47.4	66.3	236.2	63.8	56.5	47.1	66.4	233.8	55.8	43.1	46.5	54.5	200.0
合格者 平均 点	79.2	68.4	47.8	73.1	268.4	76.3	70.3	47.2	76.6	270.3	78.6	61.4	47.2	74.0	261.2
教科 別 最高 点 (合格者 最低点)	94	83	50	85	295 (254)	86	95	50	92	307 (251)	91	72	50	80	286 (244)

2022年度中等部適性型入試（1月6日）結果

中等部適性型入試（1月6日）結果についてお知らせします。



入試結果は、以下の通りとなりました。

- ・応募者数は343名、受験者数は341名（欠席2名）、合格者数は75名でした。
- ・特待合格者は、A特待3名、B特待7名でした。
- ・合格基準は各コースとも男女同一であり、いっさい差はありません。
- ・適性型入試は適性型A（100点）、適性型B（100点）、英語（50点）、面接（5段階）により合否判定を行っています。

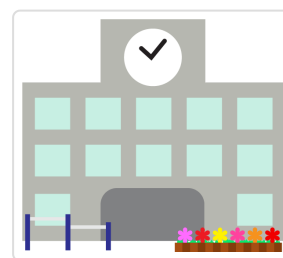
1. 入試結果

項目	東大ジュニア			医科ジュニア			難関大ジュニア		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
応募者数	57	63	120	46	58	104	58	61	119
受験者数	57	63	120	45	58	103	58	60	118
合格者数	6	7	13	6	5	11	24	27	51 (スライド 40)
倍率	9.2			9.4			10.7		

2. 入試成績

項目	東大ジュニア				医科ジュニア				難関大ジュニア			
	適性A	適性B	英語	合計	適性A	適性B	英語	合計	適性A	適性B	英語	合計
受験者平均	63.2	62.2	46.3	171.7	58.8	58.1	45.2	162.2	56.9	52.9	45.2	155.0
合格者平均	78.8	77.2	49.4	205.5	75.1	78.2	47.3	200.5	72.9	72.5	48.2	193.5
最高点 (合格最低点)	89	94	50	218 (199)	87	91	50	218 (190)	90	88	50	207 (181)

2022年度中等部帰国生入試 (11月20日) 結果



中等部帰国生入試（11月20日）結果についてお知らせします。

入試結果は、以下の通りとなりました。

- 応募者数は13名、受験者数は13名（欠席0名）、合格者数は7名でした。
- 特待合格者は、A特待0名、B特待0名でした。
- 合格基準は各コースとも男女同一であり、いっさい差はありません。

	国語・算数	英語	合計点
受験者平均点	79.3	66.5	145.8
合格者平均点	92.3	77.1	169.4
合格者最高点	118	86	189
合格者最低点	81	71	156

受験生の皆様へ

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、入試説明会等については、変更の可能性がございます。最新の情報は、本校ホームページでご案内致します。
参加を希望される場合、本校ホームページよりお申し込みが必要になります。(実施日の1ヶ月前にホームページでご案内致します。)

質問等ございましたら、下記の入試担当まで、お問い合わせください。

新型コロナウイルス感染拡大が一日も早く終息し、受験生の皆様が、来春、志望する中学校（高等学校）で新生活をスタートされますことを心より応援しております。

江戸川学園取手中・高等学校 電話 0297-74-8771

■ 中等部入試担当 遠藤・山田・貝森・中村・堂園・瀬崎

■ 高等部入試担当 青野・山本・文道・石塚・木本・鈴木

【説明会・オープンスクール】

塾の先生方対象の学校説明会	6月23日(木) 10:00～12:00
オープンスクール	7月2日(土) ※詳細は本校HPでご案内いたします。

【中等部入試説明会】	【高等部入試説明会】
9月10日(土) 10:00～12:00	9月24日(土) 10:00～12:00
10月15日(土) 10:00～12:00	10月29日(土) 10:00～12:00
11月26日(土) 10:00～12:00	11月19日(土) 10:00～12:00

【紫峰祭】

紫峰祭	10月 8日(土) 10月 9日(日) ※詳細は本校HPでご案内いたします。
-----	--

【本校外での説明会】

日 時	会 場
7月30日(土) 10:00～12:00	つくば つくば国際会議場
8月 6日(土) 10:00～12:00	水戸 常陽芸文センター(水戸)
9月17日(土) 10:00～12:00	新御茶ノ水 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター

【オンライン説明会】

11月13日(日)	中等部：9:時30分～10時30分 高等部：11時～12時
-----------	-------------------------------

【首都圏模試】

	説明会・施設案内・個別相談		
	首都圏模試を受験されない場合でも、説明会のみお申込みすることは可能です。		
7月3日(日)	9:00～12:00	首都圏模試	小6 合判模試
9月4日(日)	9:00～12:00	首都圏模試	小6 合判模試
9月19日(月 祝日)	9:00～12:00	首都圏模試	小6・小5 適性検査型模試
11月3日(木 祝日)	9:00～12:00	首都圏模試	小6 合判模試
12月4日(日)	9:00～12:00	首都圏模試	小6 合判模試

【入試】 (出願は、全てインターネット出願です。)

2023年度中等部入試		2023年度高等部入試	
帰国生入試	11月19日(土) 定員：若干名 出願受付 11月1日(火)～11月18日 (金)		
	12月17日(土) 定員：30名 出願受付 11月1日 (火) ～12月16日 (金)		
第1回入試	1月17日(火) 定員：180名 出願受付 11月21日 (月) ～1月16日 (月) 5科目型・英語型	第1回入試	1月15日(日)
第2回入試	1月25日(水) 定員：60名 出願受付 11月21日 (月) ～1月24日 (火) 5科目型・英語型・適性型	第2回入試	1月20日(金)
第3回入試	2月5日(日) 定員：30名 出願受付 11月21日 (月) ～2月4日 (土) 5科目型・英語型		

